宝くじ助成で自治会活動を支援

財団法人自治総合センターでは、宝くじの普及と広報を図るため、自治会が取り組むさまざまな活動に対してコミュニティ助成を行っています。

今年度は4地区の自治会での除雪機やAED（自動体外式除細動器）の購入にかかる費用助成（一般コミュニティ・地域防災組織育成助成事業）を受けました。

【経営管理部・地域振興課】【総務部・防災情報課】

◆助成を受けた団体と内容

団　体	助成金額	購入台数
萩原・跡津区	150万円	除雪機2台
萩原・下上呂区	150万円	除雪機2台
萩原・四美区	150万円	除雪機2台
萩原・野上区	30万円	AED1式

跡津区が購入した除雪機（写真右）と野上区が購入したAED（写真左）

電源立地地域対策交付金事業報告

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の運用の円滑化などを図るため、ダムや発電所等がある市町村が地域活性化を図ることを目的に実施する公共施設の整備や地域活性化事業等に対して、交付されているものです。

市では、平成２４年度にこの交付金（２，９３５万円）を受けて、次の事業を実施しましたのでお知らせします。

事業名と事業費（千円以下を四捨五入・カッコ内は交付金充当額）をご紹介します。

【経営管理部・財政課】

①消防自動車等購入事業（資器材搬送車）〈１台〉
114 万円（113 万円）
配備先：市消防本部南署

②消防ポンプ自動車購入事業〈１台〉　1,868 万円（1,772 万円）
配備先：金山方面隊第２分団第２部
〔本町・妙見町・境町・橋本町〕

③小型動力ポンプ購入事業〈６台〉
1,103 万円（1,050 万円）

配備先：金山方面隊第１分団第１部〔菅田笹洞〕
金山方面隊第２分団第１部〔諏訪・白山〕
金山方面隊第２分団第４部〔井尻・中宮〕
下呂方面隊第４分団第１部〔保井戸〕
萩原方面隊第１分団第１部〔山之口〕
萩原方面隊第１分団第２部〔尾崎１・２区〕

「飛騨の円空」展 観覧ツアー

東京国立博物館で開催される特別展「飛騨の円空」を観覧するバスツアーの参加者を募集します。

【期日】2月2日（土）

【行程】下呂市役所（5時出発）～高山市役所～松本IC～東京（国立博物館・上野周辺自由散策）～松本IC～高山市役所～下呂市役所（24時）

【対象】市内在住の方（定員は飛騨地域で80人、超えた場合は抽選）

【参加費】4千円（食事は各自負担）

【申込方法】官製はがきに「円空仏めぐり申込」と明記し、住所・氏名・性別・電話番号を記入。1月16日（水）必着

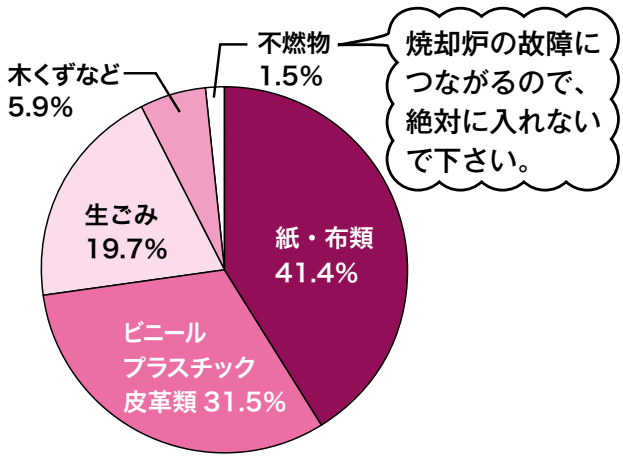
※1通で2名まで申込可

【問合・申込先】
円空連合飛騨地区担当
（高山市文化財課）
▽〒506-8555
高山市花岡町2-18
☎0577-35-3156

これからのごみ処理を考える
ごみ出しマナー徹底で減量

「広報げろ11月号」掲載のシリーズ第2回では、循環型社会形成を目指した将来のごみ減量化対策を紹介しました。3回目となる今回は、下呂市からお願いしている〝ごみ出しマナー〟を徹底することで、どこの家庭や事業所でも実践できるごみの減量化と、平成23年度にクリーンセンターに持ち込まれた可燃ごみの種類および構成割合などの状況を併せて紹介します。

平成23年度 下呂市における可燃ごみの構成割合



紙・布類と生ごみをあわせた割合が61.1%となり、可燃ごみの半分以上を占めています。これらは各家庭や事業所での取り組みにより、減量化が可能です。

可燃ごみの状況は？

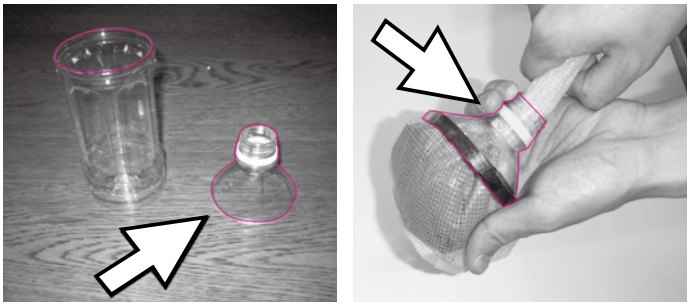
家庭や事業所から排出される可燃ごみには、どのようなものがどれくらい含まれているかご存知でしょうか。クリーンセンターでは、定期的に可燃ごみの構成割合を調査しており、平成23年度の調査結果は左上の円グラフのとおりです。最も割合が多いものは、「紙・布類」で過去の調査でも同じような状況となっています。

資源回収にご協力を

クリーンセンターで燃やしている紙類の中には、PTAなどの団体が行っている〝資源回収〟に出すことができるものも多く含まれています。例えばチラシやコピー紙なども、分別すれば可燃ごみから資源物へと変えることができます。

生ごみの水切り徹底を

左上の円グラフの中で、約2割を占めている生ごみ。この生ごみの〝水切り〟がさらに徹底されると、それだけでごみ減量化となります。水分量が軽減され、悪臭対策も含めて台所でできる「大切な環境対策」になります。ごみ減量化を推進するために、水切りの徹底をお願いします。



ペットボトルを使った「生ごみの水切り」

「新クリーンセンター建設計画」を進める中で、施設の規模や処理方式なども検討していきます。その検討データとして、新クリーンセンターが処理していくことになる〝将来のごみ量〟は重要なポイントとなります。大きな施設を造れば、それに応じて建設費と維持費が必要となりますので、ごみ減量化なども考慮しながら適切な規模を検討し、下呂市のごみを効率よく処理する施設の建設を目指します。

【環境部・環境施設課】